

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●秋華賞ではアカイトリノムスメがG I 初制覇を果たす

10月17日(日)、京都競馬場の改修工事に伴いレース創設以来初めて阪神競馬場で開催された秋華賞(G I)では、アカイトリノムスメ(牝3歳/美浦・国枝栄厩舎)が優勝、G I 初制覇を果たしました。同馬の母アパパネは2010年に秋華賞を制しており、秋華賞母子制覇は史上初のこと。また国枝調教師はグレード制が導入された1984年以降では4人目となるJRA・G I 通算20勝を達成するとともに、アパパネ、2018年のアーモンドアイに続く秋華賞3勝目をマーク。これは単独トップの記録となります。

●松山弘平騎手がJRA年間100勝を達成

10月16日(土)の4回阪神3日・第6レースではディアノイアが1着となり、同馬に騎乗した松山弘平騎手(栗東・フリー)は、2年連続2回目となるJRA年間100勝を達成しました。今年度のJRA年間100勝は、C.ルメール騎手、川田将雅騎手、福永祐一騎手に続いて4人目となります。

●斎藤新騎手がJRA通算100勝を達成

10月17日(日)の5回新潟4日・第8レースではサトノアポロンが1着となり、同馬に騎乗した斎藤新騎手(栗東・安田隆行厩舎)は、現役99人目となるJRA通算100勝(1738戦目)を達成しました。

●クリソベリルらの競走馬登録抹消

2019年チャンピオンズC(G I)、2020年JBCクラシック(大井・Jpn I)などの勝ち馬クリソベリル(牡5歳/栗東・音無秀孝厩舎/JRA通算4戦3勝・地方6戦5勝・海外1戦0勝)、2018年ラジオNIKKEI杯京都2歳S(G III)の勝ち馬クラージュゲリエ(牡5歳/栗東・池江泰寿厩舎/JRA通算12戦2勝)、2017年新潟大賞典(G III)の勝ち馬サンデーウィザード(牡9歳/栗東・大久保龍志厩舎/JRA通算39戦6勝)は、10月13日(水)までに競走馬登録を抹消されました。クリソベリルは北海道安平町の社台スタリオンステーションで種牡馬、サンデーウィザードはJRA馬事公苑で乗馬となる予定。クラージュゲリエは放牧先のノーザンファームしがらき(滋賀県甲賀市)で死亡しています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ジュニアグランプリはモリデンブラック【各地の主要2歳重賞】

ジュニアグランプリ(9月20日、盛岡、芝1600m)は、中国から差を詰めた2番人気の北海道からの遠征馬モリデンブラック(牡、父トウザワールド)が、先に抜け出した1番人気のギャレットをゴール前で捉えました。イノセントC(9月16日、門別、1200m)は、5番手を追走した2番人気のレディーアーサー(牝、父パイロ)が、残り50mで差し切り勝ち。ゴールドジュニア(9月20日、大井、1200m)は、3番手から4コーナー手前で抜け出した2番人気のマママカロニ(牡、父ホッコータルマエ)が9馬身差の圧勝。フローラルC(9月22日、門別、1600m、牝馬)は、後ろから2頭目という位置から追い上げた2番人気のコスモボラリタ(父ローズインメイ)がゴール寸前で差し切り勝ち。金沢プリンセスC(9月23日、金沢、1400m、牝馬)は、2番手を進んだ3番人気の北海道からの移籍馬エムティアンジェ(父マクフィ)が直線半ばで逃げ馬を交わして優勝。園田プリンセスC(9月23日、園田、1400m、牝馬)は、逃げた3番人気の北海道所属馬グラーツィア(父ホッコータルマエ)が後続を3馬身引き離して完勝を収めました。サンライズC(9月30日、門別、1800m)は、中国から伸びた4番人気のナッジ(牡、父フェノメノ)が、残り200mを切った辺りで逃げ馬を捉えて初の重賞制覇。九州ジュニアチャンピオン(10月3日、佐賀、1400m)は、3番人気のムーンオブザクイン(牝、父エイシンフラッシュ)が3番手から4コーナーで先頭に立って押し切っています。
※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1チャンピオンS～フランスのシリウエイが制す

4つのG1を含む5つの重賞を1日でまとめて行う英チャンピオンズデーが10月16日にイギリスのアスコット競馬場で開催されました。メインとなるG1チャンピオンS(3歳上、芝1990m)を制したのはフランスのシリウエイ(牡3歳、父ガリウエイ、C.ロッシ厩舎)。M.バルザローナ騎手を背に先行策から残り400mを切った辺りで先頭に立つと、G2を連勝して臨んだドバイオーナーの追い上げを $\frac{3}{4}$ 馬身差退けました。シリウエイはこれで昨年10月のジャンリュックラガルデル賞(芝1400m)以来となるG1・2勝目。前走のG1凱旋門賞は5着でした。

●G1コーフィールドC～インセンティブァイズが9連勝

10月16日にオーストラリアのコーフィールド競馬場で行われた、G1コーフィールドC(3歳上、芝2400m)はB.プレブル騎手が騎乗したインセンティブァイズ(騾5歳、父シャマスアワード、P.ムーディー厩舎)が3馬身半差で完勝。これで今年4月の初勝利から9連勝となりました。G1は2走前のマカイビーディーヴァS(芝1600m)、前走のターンブルS(芝2000m)に続く3勝目です。